

JB Customer Report

ORPHIS FT

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします！ 取材：営業部 営業企画推進課

大垣市立安井小学校 様

【教育目標】たくましく しなやかな 安井の子 ~よく考える子 仲良くする子 やりぬく子~

大垣市立安井小学校 事務の杉山さんに2021年8月に導入されたORPHIS FT5231についてお話を伺いました。
～『職員の働き方改革』の実現のために、2014年に大垣市小中学校全校にORPHIS EX7250を一括導入。センタープリンターとして使用し、導入から7年が経過した2021年に新機種ORPHIS FT5231にリプレイス。～

働き方改革をより実現するために。

当校では、前機種EX7250の頃から働き方改革の実現のため、ホチキス留めや仕分けなど後処理で時間がかかる作業などはORPHISを使用し、職員の作業時間の削減と印刷時間の削減を行ってきました。印刷から後処理まで高速かつ正確にできるORPHISによって処理スピードが格段に上がりましたので、印刷が集中する朝の時間と放課後も印刷渋滞が緩和され印刷環境は劇的に変わりました。ORPHIS EX7250導入当初は機械が職員室と離れた印刷室に設置されており、印刷室まで行く手間が面倒で少量の印刷だと職員室内に置いてあるレーザープリンターで印刷される先生が多く、コストが高くつくことが悩みでした。ORPHISの入れ替わるタイミングで、新機種FTの本体サイズがコンパクト化されたことと静音性が高まったことから、設置場所を印刷室から職員室に変更しました。当初職員室に設置することに反対意見もありましたが、より先生方の働き方改革実現とセンタープリンターとしてORPHISに印刷を集中させたかったこともあり職員室への設置を実現させました。小枚数でもモノクロ（※1枚あたり約0.41円）・カラー（約1.47円）が低コストで印刷出来ること、ファーストプリントも含めレーザープリンターよりスピードが断然速いため、学校現場にはORPHISはなくてはならない機械となっています。



ORPHIS の機能をフル活用！？

ORPHISのカラーコストは1円台と、モノクロ印刷並みの低ランニングコストで印刷可能ですので、学校内でもカラー印刷をより身近に感じるようになりました。ORPHISでカラー印刷を行っているものはテストや一部の通信、掲示物等、多岐に渡ります。モノクロ印刷でも、強調したい部分をワンポイントでカラー印刷する等して活用をしています。一部分だけでもカラーにすることでパッと目に留まりやすく、生徒たちや保護者の方等の受け手側へも情報が入っていきやすいですね。今後もORPHISの特性を上手く活かしながら、必要なものはカラー印刷を活用し、生徒へより分かりやすい教育を発信し続けたいと思います。



ORPHIS 導入によるカラー印刷の多様化

4ヶ月に1度使用履歴(印刷枚数・コスト)を分析し提出していただけるジムブレーンさんのオリジナルのJB Value Systemによって、学校の印刷環境の見える化が図れていますので運用していく上でとても助かっています。分析結果で当校ではカラー印刷を全体の約40%使用していますが、平均コストが1.41円で印刷出来ていると聞いて驚きましたね。月に一回生徒の写真を掲載した学校便りもORPHISで印刷していますが、印刷コストが1円台で出来るのであればカラー印刷を気兼ねなく印刷出来ますし、お便り以外でも生徒たちへ視認性の高い教育資料作りをORPHISで実現できることは非常に嬉しいことです。教育現場ではカラー化は今後なくてはならないため、ORPHISを今後もフル活用していきたいですね。

営業担当者の声

FT5231を高く評価
いただきありがとうございます。

EXからFTに切り替わった事で職員室に設置して頂けたことで印刷コスト削減、先生方の印刷負担を低減する事に貢献でき、大変嬉しく思います。



営業担当:橋本 浩明